

《子どもに起きやすい伝染病》

2012年保育所における感染症対策ガイドラインより

病名	感染しやすい期間	主要症状	登園のめやす	登園届意見書の有無
麻疹 (はしか)	発熱出現1～2日前から発しん出現後の4日間	発熱、発疹、口の中に白いブツブツ、せき、鼻水、くしゃみ、目やに、風邪に似た症状	解熱後3日、せき、発疹が軽快するまで	意見書
風疹 (三日はしか)	発しん出現前7日から発しん出現後7日間	発熱、発疹、頭部のリンパ腺腫脹	発疹が消えるまで	意見書
流行性角結膜炎	発症後2週間	目の結膜が赤くなり、ぶつぶつが見られ、まぶたもはれ涙が出る。かゆい。	目の充血、異物感が消失するまで	意見書
急性出血結膜炎	ウイルス排出は呼吸器から1～2週間、便からは数週間から数か月	充血、流涙	目の充血、異物感が消失するまで	意見書
水痘 (水ぼうそう)	発しんが出現する1～2日前からすべての発しんが痂皮化するまで	多くは発熱とともに粟粒大の水痘をもった発疹ができる。	すべての発疹がかさぶたになるまで	意見書
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	ウイルスは耳下腺腫脹前7日から腫脹後9日まで唾液腺から検出耳下腺の腫脹前3日から4日間は感染力が強い	発熱、耳たぶの下と前後のはれ、頭痛、食欲不振	耳下腺のはれが消えるまで	意見書
百日咳	感染力は感染初期（咳が出現してから2週間以内）が最も強い。抗菌薬を投与しないと約3週間排菌が続く。抗菌治療開始後7日で感染力はなくなる。	日増しにひどくなる咳、ねばっこい痰。熱はなく、のども赤くない。	発病後2週間以上治療し、特有の咳が軽快するまで	意見書
インフルエンザ	症状が有る期間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い）	発熱、嘔吐、食欲不振、下痢、関節痛	発症した後5日を経過し、かつ、解熱後3日を経過するまで	受診書
咽頭結膜炎 (プール熱)	咽頭から2週間、糞便から数週間排泄される。(急性期の最初の数日が最も感染性あり)	発熱、手のひら、足の裏、口の中に小さな水痘ができる。	発熱、咽頭及び結膜の発赤消失後2日まで	意見書
溶連菌感染症	抗菌薬内服後24時間を経過するまで	のどの痛み、熱、体や手足の発疹、舌はイチゴのようになる。	主要症状が消失するまで(発熱、咽頭痛発疹等)	登園届
ウイルス性胃腸炎	症状の有る時期が主なウイルス排泄期間	発熱・吐気・嘔吐・下痢(黄色より白色調であることが多い)《合併症》けいれん、肝炎、まれに脳症	嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事ができるまで。 (普通便に戻るまで)	登園届
ヘルパンギーナ	唾液へのウイルスの排泄は通常1週間未満。糞便への排泄は発症から数週間持続する	突然の高熱、咽頭痛、口蓋垂付近に水疱や潰瘍形成。咽頭痛がひどく食事、飲水ができないことがある。	発熱がなく(発熱後1日以上経過し)、普段の食事ができること	登園届
手足口病	唾液へのウイルスの排泄は通常1週間未満糞便への排泄は発症から数週間持続する。	発熱、手のひら、足の裏、口の中に水痘性発疹	主要症状が消えるまで(症状により医師の指示による)	登園届
RSウイルス感染症	通常3～8日間(乳児では3～4週)	発熱、鼻汁、咳、喘鳴、呼吸困難	重篤な呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと	登園届
膿痂疹 (とびひ)	効果的治療開始後24時間まで	粟粒大の水痘性発疹、発熱	水ぶくれ、ただれが完全に治るまで	無

※ 手足口病・膿痂疹は症状によって家庭保育をお願いすることもあります。